

# 1. 明日香村 & 長谷工コーポレーション

## 明日香村で進める連携のまちづくり

### 明日香村の協働による村づくり

明日香村総合政策課

建築技術顧問 西山恵三



あすかむら  
明日香村

古代文化の香り豊かな郷



石舞台上空から明日香村、畝傍山、二上山、大阪湾



甘櫨丘から飛鳥集落、飛鳥宮跡



石舞台古墳



飛鳥宮跡から甘櫨丘



稲刈の棚田・彼岸花

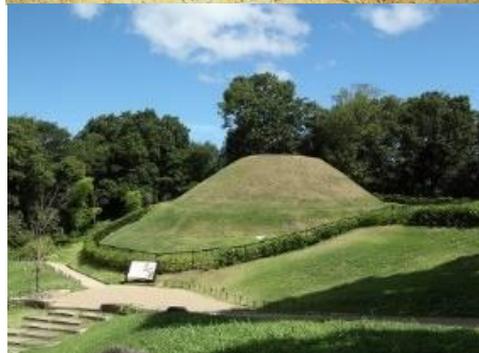
明日香村は、大阪市から40km圏内の面積約24km<sup>2</sup>、人口約5,300人の村です。古代飛鳥地方は、瀬戸内海を通じて朝鮮半島、隋・唐との国際交流の中で、7世紀後半には天皇を中心とした“律令国家 日本”の誕生の地となりました。



檜前集落



岡の町並み



高松塚古墳と“飛鳥美人”



飛鳥寺



男綱（稲淵集落）

宮跡や寺院跡、古墳など往時の貴重な歴史的文化的遺産が村の全域に数多く存在しており、万葉集で詠われた風景を偲ばせる自然的環境、棚田や集落等の農村環境、歴史的な町並み、継承されてきた祭礼等が一体となって、特色ある歴史的風土を形成し、“日本人のこころのふるさと”と称されています。

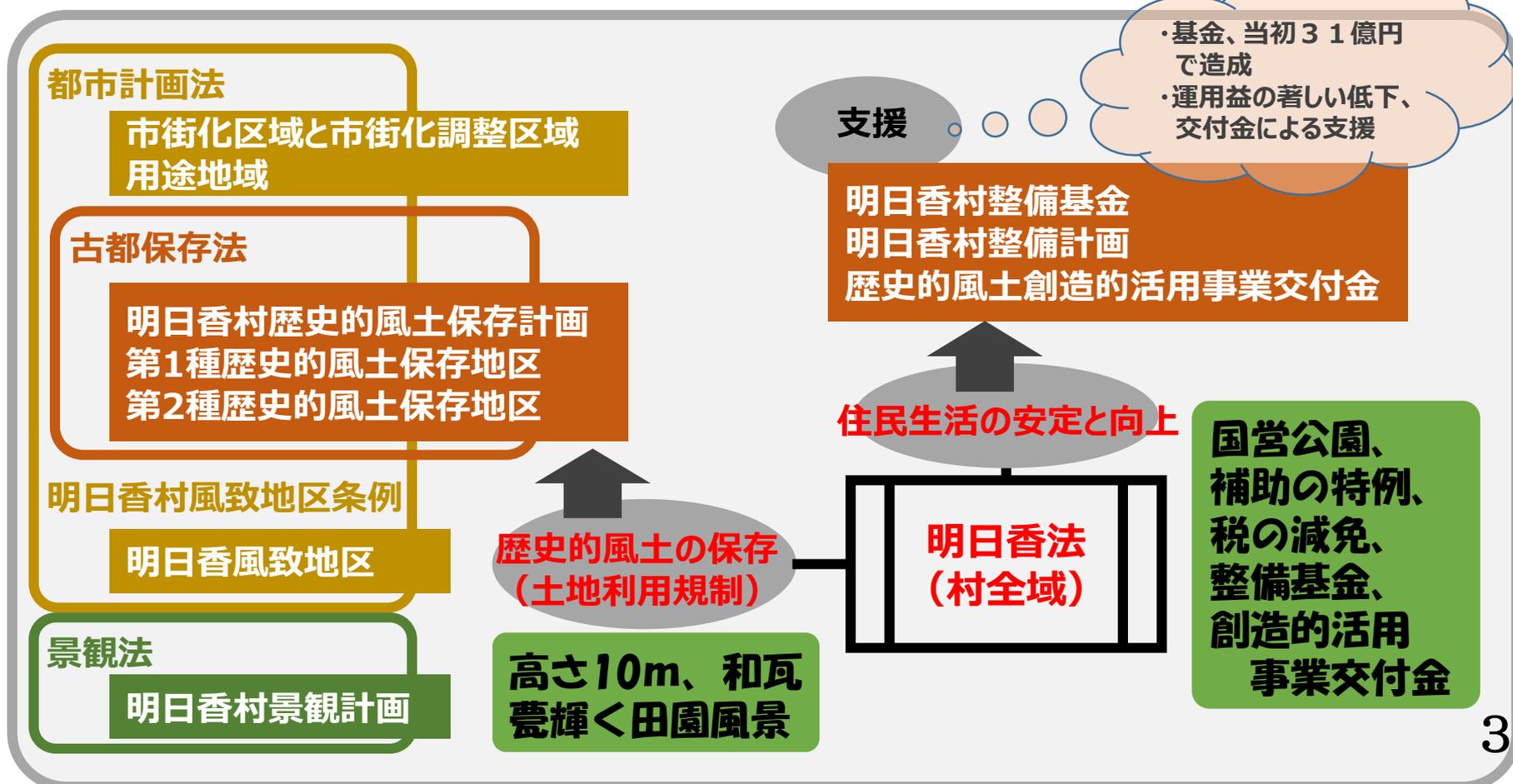
### 1) 明日香法

昭和41年 古都保存法公布（古都:奈良市、京都市、鎌倉市、明日香村等10市町村）

↓ 明日香村（一部）でも特別保存地区の指定（昭和44年）

↓ 引き続き宅地開発の圧力、高松塚古墳極彩色の壁画発見（昭和47年）等

**昭和55年 明日香法公布**（明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法）

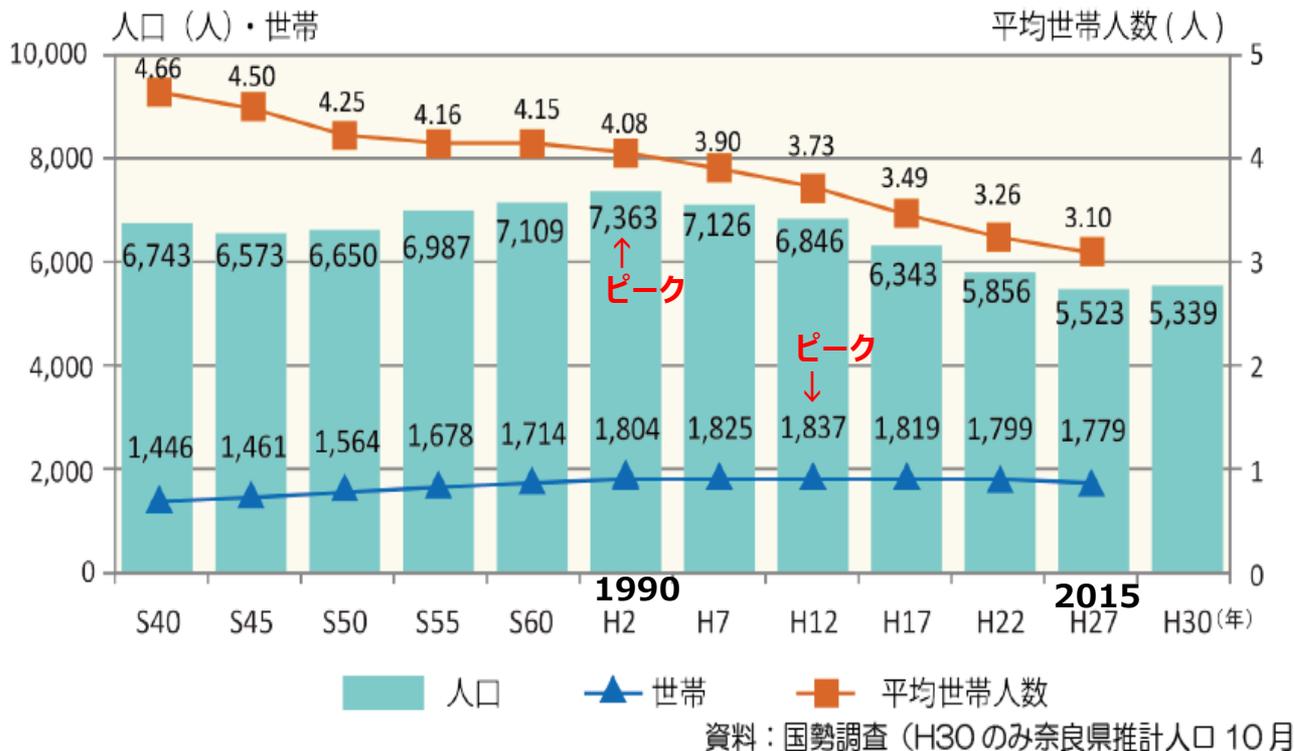


## 2) 人口減少と少子高齢化

○1990→2015年 人口7,363→5,523人 25%減少

○2017年4月 明日香村は過疎地域に指定

■ 人口・世帯数の推移

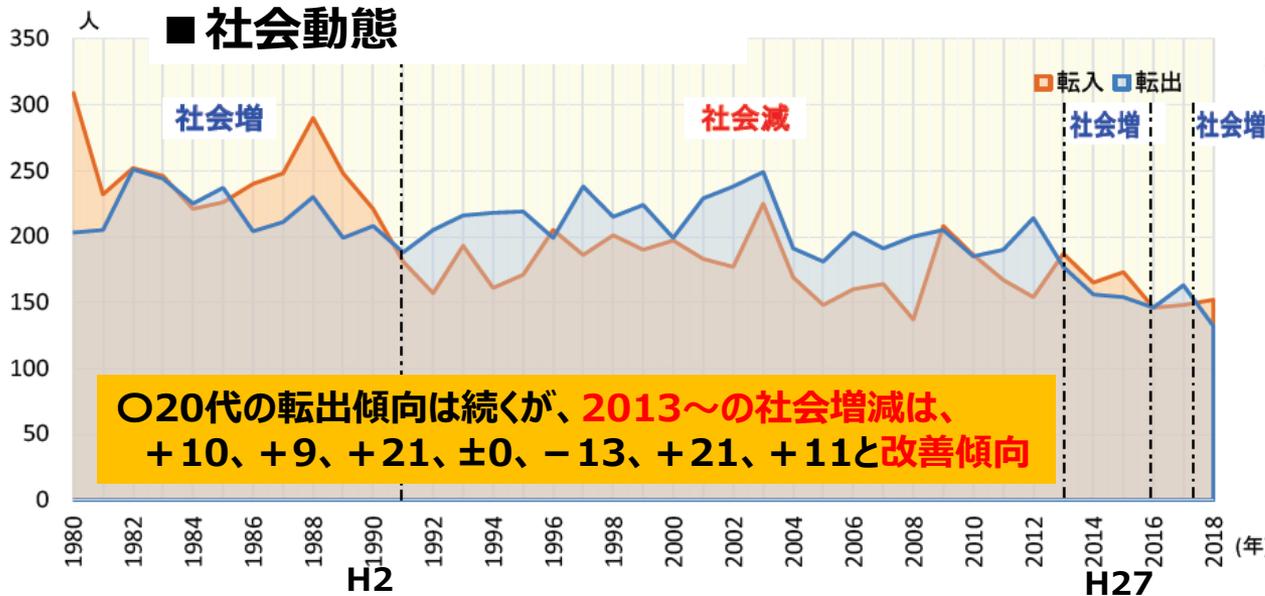


○2015→2045年 人口5,523→3,111人 43%減  
 <2018.3 社人研試算>

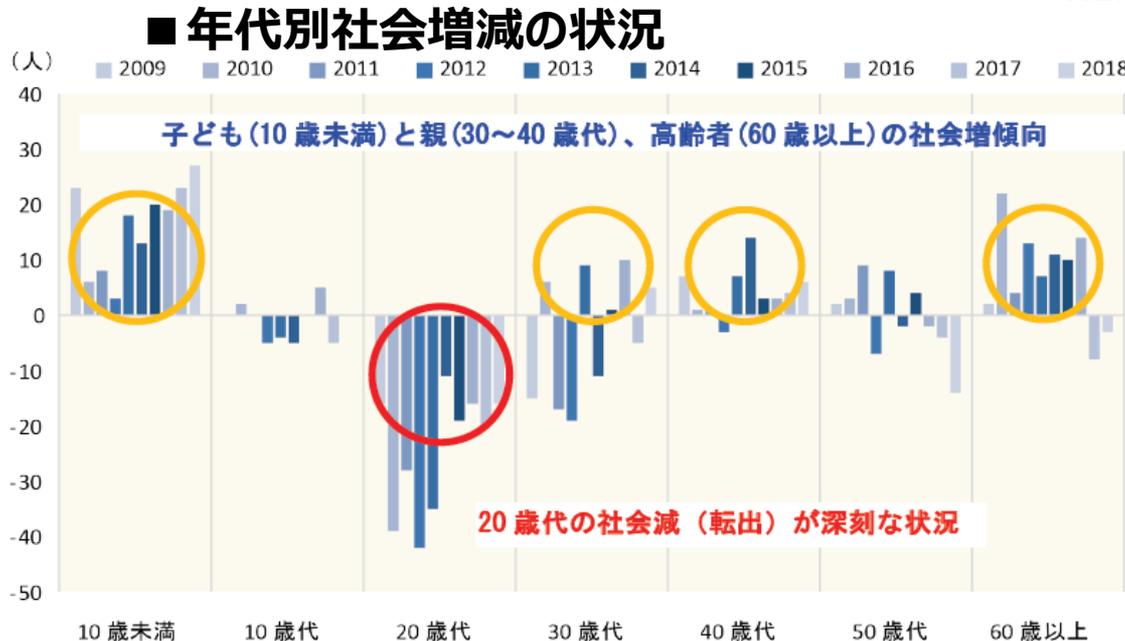
2015.10 国勢調査 5,521人※ 63,621人	2010.10 国勢調査 5,856人
老年人口 2,019人 (36.6%) (29.0%)	1,804人 (30.8%)
生産年齢人口 2,978人 (53.9%) (58.5%)	3,476人 (59.4%)
年少人口 524人 (9.5%) (12.2%)	576人 (9.8%)

<青字は橋本市>

## 2. 明日香法と明日香村の現状と課題



○明日香村の歴史的風土を守り、地域社会を維持していくために、  
**空家活用・住宅地整備など  
 受皿確保、**  
 同時に**若者や親子連れをターゲットとして村外からの転入を  
 促し、転出を抑制するハード・ソフトの一体的な対策**



○具体的な目標  
 「現状の転入・転出の状況にプラスして、  
 転入増・転出減となるよう  
 毎年30~40人の上乗せ」

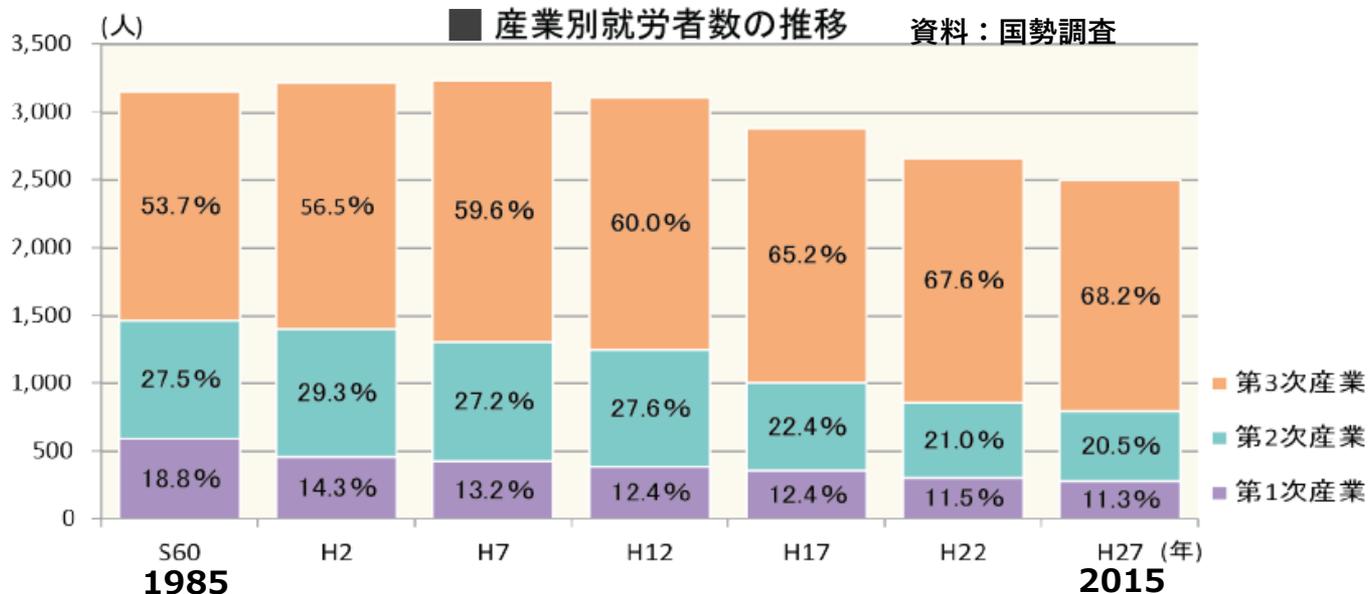
○2060年には、  
 「4,100~4,500人程度の  
 人口を確保」

### 3) 農林業の衰退、観光の低迷

○第1次産業就労割合 1985→2015年 18.8→11.3%(国勢調査)

○農業就業人口の著しい減少 1985→2015年 1,079→436人  
65歳以上の割合 26.4→60.1% (農林業センサス)

○耕作放棄地の割合 2015年 20.6%(114.4ha) (資料：農業委)

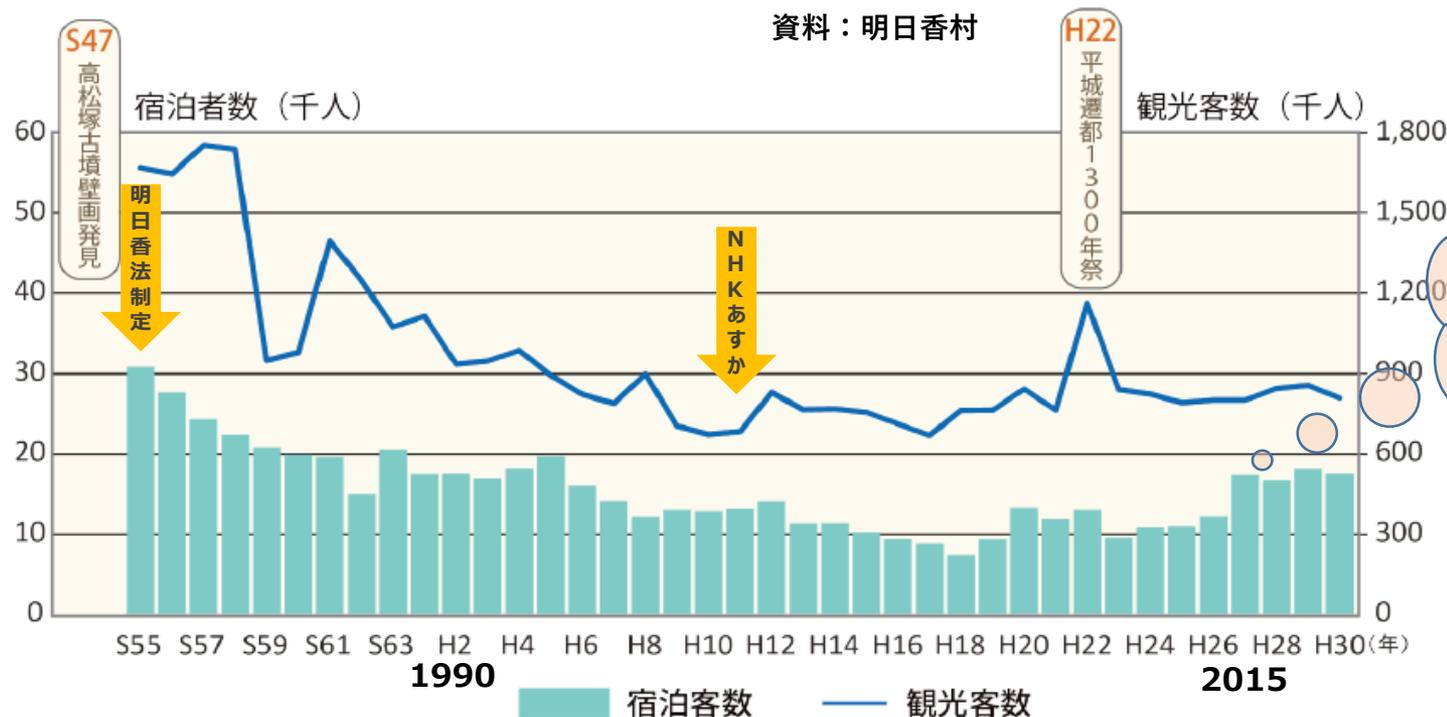


○農林業の持続性が危ぶまれ、遊休農地の増加、森林の荒廃、集落の衰退が懸念  
明日香村の歴史的風土の基盤である田園風景の維持が困難

○6次産業化や観光農業による農業経営の基盤強化等地域産業としての農林業活性化  
○観光産業のすそ野の広さを活かして農林業と連携した特産品の開発など商工業の振興

- 観光客数は昭和57年をピークに減少、近年は半減の80万人程度に低迷
- 宿泊者数も昭和55年は約3万人、近年は2万人弱であり、大半が日帰り観光
- 国営公園・古墳など整備進捗、一方飛鳥宮跡など今は「見えない」遺跡にとどまっている

■ 明日香村の観光客数と宿泊客数の推移



近年の宿泊者の増加は民家ステイ（教育旅行）の影響が大きい

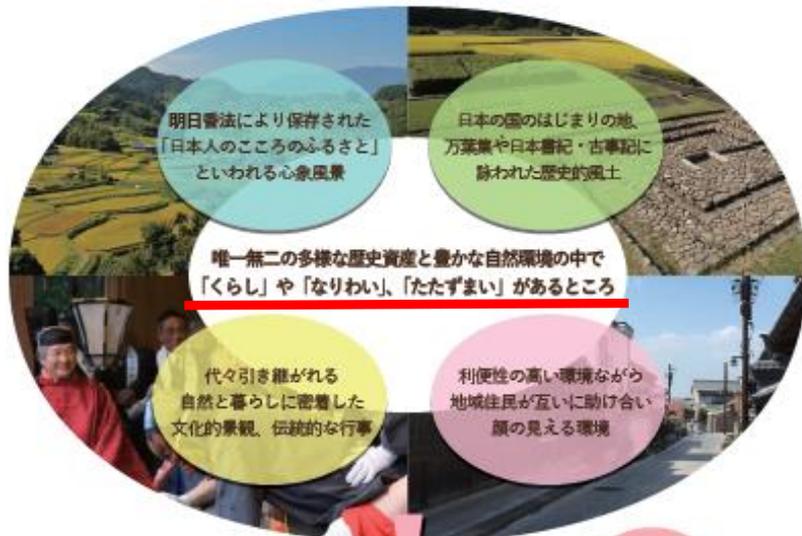
- 恵まれた文化財や景観を活かし、村の魅力を発信
- 明日香村の魅力を活かし明日香らしさを体感する観光資源の整備・充実
- 観光産業等の起業や企業誘致促進により、雇用機会の拡充、地域の活性化

# 3. まるごと博物館づくりと協働による村づくり

## 1) 第5次明日香村総合計画：明日香村読本(2010~2019) 村づくりの体系

明日香村が目指すむらづくり

### 明日香村の価値

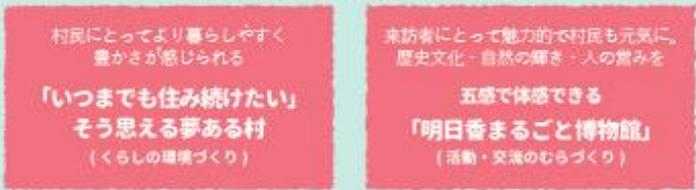


### 協働による村づくり

様々なノウハウや考えを持った多様な人材が、明日香村を支えるパートナーとして、みんなで地域課題を克服できる明日香村を目指します。



### 明日香村の目標(将来像)



～ 志縁活動 ～ 企業・大学・NPO 団体など

～ 地縁活動 ～ 大字・消防団・老人会・婦人会など

### くらしの環境づくり

子育て・教育・健康・医療・地域福祉

- ① 特色ある歴史的環境で「次代を担う子どもが育つ村」
- ② 万葉の地で「元気にいきいきと暮らせる村」

### 社会基盤づくり

道路・水路・河川・上下水道・防災・公共施設・情報通信・交通・定住

- ③ 古都にふさわしい「安全・安心して生活しやすい村」

～ 五感で体験 ～

### 明日香まるごと博物館づくり

文化財・景観・農林業・商工観光・雇用



- ④ 古代史の舞台で「交流を促し元気のある村」

- ⑤ 世界遺産登録による「歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村」

# 3. まるごと博物館づくりと協働による村づくり

5 世界遺産登録による  
歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村

保存活用・文化継承  
景観・里山・情報発信

## 「文化財」「里・林」「暮らし」が一体の景観づくり

継続して文化財の保存を進めつつ、「明日香らしさ」の重要な要素である「文化財」と「里・林」と「暮らし」が一体となった彩りや趣のある景観を守り育て、それらの資源を活用し、次代の人々に継承するとともに、世界遺産登録を目指します。

## 過去から現在、未来につながる明日香の文化の創造

各地の祭礼行事や文化活動、伝統芸能の継承を支援するとともに、明日香の価値を内外に情報発信し、多様な人々との連携を進め、過去から現在、未来につながる明日香の文化の創造を目指します。

### みんなで進めてもらいたいこと

- ①景観づくり活動
- ②里山・権限転換活動
- ③芸術・文化・祭礼行事等の活動継承

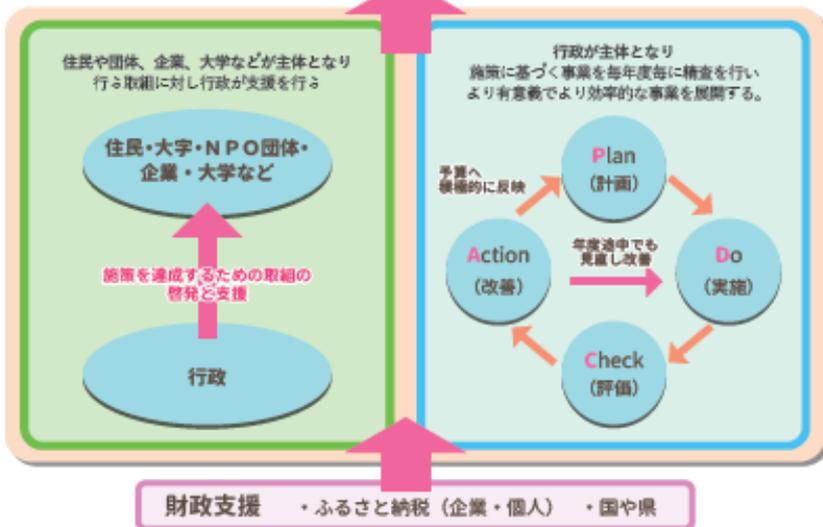
### 村役場で進めること

- ①歴史的文化的資産の保存と活用
- ②明日香の価値の継承と創造
- ③世界遺産登録



～柔軟かつ着実な取組みを推進するために～

### 協働による村づくり



- 人口減少・高齢社会の到来  
都市拡大・スプロール→都市縮小・どう折りたたむ  
⇒都市の整備からマネジメントがテーマに
- 経済的基盤が揺らぎ行政が何でもやれる時代の  
終焉 ⇒多様な主体の連携・新たな公
- 地方分権の進行、地域間競争の時代  
⇒地域の個性を磨き、地域の個性を発揮
- 市民の価値観の変化・多様化  
⇒物質的豊かさから心の豊かさ、社会貢献意識

- トップダウンの都市計画から  
ボトムアップのまちづくりの時代へ  
地域を最も知る地域自身が、地域の資源を使い  
こなし、計画・規制・誘導・事業などを総合的に  
組み合わせてマネジメントすることが必要

- 明日香村の協働による村づくり  
様々なノウハウや考えを持った多様な人材が明日  
香村を支えるパートナーとして、みんなで地域課題  
を克服できる明日香村を目指します。

# 4. 明日香村で進める連携のまちづくり

## 1) 国・奈良県・広域連携

### ○第5次明日香村整備計画（奈良県策定：R2～R11年度）

歴史展示の推進、歴史的風土の維持・向上（景観形成・農業活性化・樹林地）、祭礼等の継承、観光交流の振興、生活環境基盤の整備

### ○奈良県とのまちづくり連携協定（H27.10包括連携協定）

- 飛鳥宮跡周辺地区：飛鳥宮跡の史跡拡大、歴史展示の推進 等
- 飛鳥駅周辺地区：道の駅「飛鳥」、商業・住宅地形成、牽牛子塚古墳を核とした広域周遊ルート整備 等

← 県は「奈良モデル」と称して、様々な連携を市町村と推進

### ○飛鳥広域行政事務組合：橿原市・高取町・明日香村

し尿処理・ごみ焼却場、EV車Michimo導入、観光案内整備  
日本遺産「飛鳥を翔た女性たち」

### ○飛鳥ナンバー：飛鳥ナンバー協議会（橿原市・高取町・田原本町、三宅町、明日香村） R2.5から飛鳥ナンバー交付開始

### ○世界遺産「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の登録推進：登録推進協議会（明日香村、橿原市、桜井市、奈良県）平成19年暫定一覧に記載。令和6年の登録を目指す

### ○その他

- 扶余郡 姉妹都市提携 ●高槻市 包括連携協定
- 災害・見守り活動に関する覚書・協定 ならコープ等多数



榎考研作成の想像図



■史跡・名勝「飛鳥京跡苑地」の復元整備 面積2.8ha



■飛鳥ナンバープレート

1

0

## 2) 村民・地域・NPO等との連携

### ○教育旅行・民家ステイ（ニューツーリズム協議会）

農家等を受入施設とし、農業・料理などの体験プログラムを提供。海外からも。明日香村商工会などニューツーリズム協議会が運営。 橿原市・高取町等とも連携。受入民家約250戸に拡大。

H25年度2,500泊→H28年度6,500泊（半分は海外から）→10,000泊目標



■教育旅行 離村式



■オーナー制度の推移



■棚田オーナー

### ○オーナー制度（NPO、地縁団体など）

明日香の「農」が生き続けていくために、その負担を「都市」と分かち合う目的。平成8年の「棚田」オーナー以来様々なプログラムを行い、耕作放棄地解消や都市農村交流による地域の活性化。

### ○空き家バンク制度（明日香村、大字）

空き家所有者と利用希望者を繋ぎ、空き家・土地の有効活用によって、景観の維持、定住を促進。空き家発生や老朽化の情報提供、「村入り」の世話など地域・大字総代と連携。

平成21年度制度創設、以来登録117件、うち成約81件。動産整理費・改修費等手厚い助成。

## 3) 大学・高校との連携

### ○関西大学 (H18.2、R2.9協定)

昭和47年の高松塚古墳壁画の発掘調査以来の連携経緯

- ・「かんだい明日香まほろば講座」の東京共催、「飛鳥光の回廊」
- 「飛鳥川環境整備」への参画 等
- ・古墳・遺跡発掘調査（中尾山古墳）、世界遺産登録 等



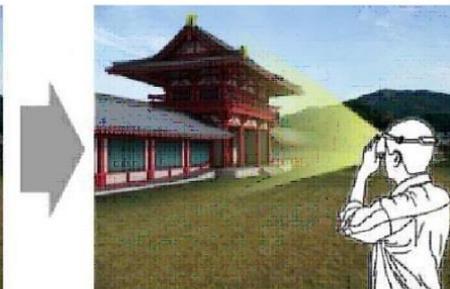
■かんだい明日香まほろば講座

### ○東京大学生産技術研究所 -バーチャル飛鳥京

MR技術（現実と仮想の世界の融合を目指す）により、効果的な観光ガイドシステムの実用化を目指す



現在の明日香村川原寺跡



MR技術による復元イメージ

■バーチャル飛鳥京

### ○奈良県立医科大学(H24.7協定)

-AKP48（あすか健康プロジェクト）、AKPネクスト  
新たな健康診断システムの構築を通じた健康意識の  
向上、認知症予防対策事業

### ○高取国際高校(R3.2協定)

地域に密着した高校を目指し、飛鳥地域や伝統芸能  
を学ぶ機会確保。飛鳥駅前におけるボランティア活動

### ○その他

- 京都大学経営管理大学院－観光動向調査
- 天理大学－子供わくわく教室
- 奈良県立大学－観光イベント参画
- 帝塚山大学－感性教育
- 畿央大学－古民家の活用、国際連携

